

2012年4月1日

八甲田地区  
パークボランティア連絡会  
第83号 会報



提供：十和田自然保護官事務所

事務局（発行者） 阿部幸子  
青森市中佃 2-15-5  
Tel・Fax 017-741-8068  
E-mail  
pv.0514@ruby.plala.or.jp

新規PV  
も併せ48名  
の会員が、  
ゆゝさ浅虫  
に集合し、環境省主催に  
よるPV会員研修会が開  
催された。  
「八甲田山の四季」と  
題して発表した田中定男  
さんは、版画・写真で県  
展に度々入選されており  
冬の八甲田山にも足を運  
んでいることを知り、発  
表をお願いしたところ、  
快く依頼を引き受けてく  
れました。多数の会員は  
目にするのが出来ない  
冬の八甲田山を見せてい  
ただき、ありがとうございます。  
故盛師津雄氏の奥様も  
生前一緒にスキーを楽し  
んだのを思い出し、懐か  
しく見せてもらって良か  
ったと喜んでいました。  
今後も研修会は会員の  
発表の場として定着出来  
たらと考えています。



.....  
3月の活動報告

研修会「植物の不思議」を受講して

田村 正美

3月4日、道の駅ゆゝさ浅虫でPV研  
修会が開催され、新旧会員と環境省を合  
わせ、50人以上が出席しました。

講習では、NPO十和田奥入瀬郷づく  
り大学の斗沢栄一氏が「植物の不思議」  
と題して講演してくださいました。氏は、  
三本木農業高校校長などを歴任した植物  
のプロです。

では興味深い講習の内容を一部紹介し  
ます。



「福寿草」蜜が無く、花がパラボナア  
ンテナ形になり中心を  
温め寒がつている虫を  
集める。

「カタクリ」種が発芽してから、約8  
年で葉が二枚になり花が咲く。受粉  
を確実にするため、長短3本ずつ雄  
しべがある。

「コブシ」仲間にはタムシバやハクモ  
クレンがあるが、花のすぐ下に葉が  
付くのはコブシだけ。

「ツツジ」虫を呼ぶために花びらに斑  
点があり、これを密標またはガイド  
マークという。

.....

「フキノトウ」雌雄異株で、雄株は  
花粉を出した後必要ないので枯れ  
て雌株は種子を遠くへ飛ばすため  
高く成長する。

「カツラ」1年と2年以上経った枝  
の葉の形が違う。異形葉といい、  
ユーカーリ、ヒイラギ等も形の違  
いが出る。

この他、キクザキイチゲ、ギンリョ  
ソウ、ツユクサ、オオハンゴンソウ、  
クズ、イチヨウ等について、プロの知  
識を伝授していただき、会員もメモを  
取る方が沢山見受けられました。興味  
のある方は「十和田奥入瀬郷づくり大  
学」のHPで、現在18種類の植物が公  
開されていますので覗いてみてください。  
現在東奥日報夕刊紙には50回中  
の45回まで掲載されていますが、HP  
では18回までの公開となっています。

いずれ全部公開  
されますが早く  
見たい方は私の  
ところに45回分  
のスクラップが  
有りますのでコ  
ピー可能です。



研修会「救急救命講習」を受講して

高田 光明

当会で行われた「救急救命講習」も、平成8年と10年に続いて今回で3回目となりました。講師の方は日本赤十字社青森支部の川村さん。講習会は参加人数が多く、また、通常3〜4時間程かけて行う講習を約半分の時間で終えなければならず、何かと大変であったと思います。講習内容は心肺蘇生法とAEDを組み合わせた基本的な救命措置についてであり、私たちがもし、緊急現場に居合わせた時の一連の対応方法について学習するというものでした。



緊急時における具体的な対応の流れとしては、

傷病者の発生（発見）

周囲の状況観察

全身の観察

意識の確認（意識あり 必要処置を取る）

協力者を求める（救急車とAEDの要請）

呼吸の確認

胸部圧迫30回（強く・早く）

気道確保・人工呼吸2回

AED使用（蘇生しない場合は再起動）

胸部圧迫30回と人工呼吸2回（繰り返し）

であり、もし、自分がこのような場合に居合わせただけの場合、落ち着いて行動しなければと思いました。

「冬の鳶スノーシュー」サポート報告

畑 雅之

3月10日、冬の鳶沼スノーシュー散策行事に、サポートとして参加してきました。曇り空でしたが、風もなく穏やかな日和であったと思います。10時にリーダー、スタッフが揃ってミーティング。スノーシューの貸し出し、参加者の受付確認を済ませ、散策コースでの注意点などを説明後10時半出発。一般参加者14名に主催者側8名が加わり、結構な人数となった。

雪は締まっていて沈むことなく歩き易い。11時には鳶沼に立つ。続く月沼は水面に周りの木々を写している。種村リーダーの楽しい解説で、朽木の上に溜った雪の重さは？とか、食痕は誰の仕業など、見たり、聞いたり話したり。12時過ぎに長沼に到着、思い思いの場所ですノンタイム。近くの斜面では童心に帰り、尻滑りを始める若者？達。サワグルミの冬芽はどれ？どこに鳥がいますか？縫いぐるみの小鳥を離れた木の枝に置き、参加者に探してもらおうゲーム。本物は姿を見せなくても楽しめる工夫。14時20分頃に無事温泉前に戻って来た。雪面を自由に歩き回れるスノーシューを使って冬の鳶沼めぐり、参加した皆さんの楽しさが伝わって来た一日でした。



4・5月の活動予定

奥入瀬溪流クリーンハイキング

（自然公園財団主催）

4月20日（金）9時〜12時

8時50分 石ヶ戸集合（2班に分かれて作業）

申込み締切り：4月15日

鳶の森自然観察会（PV主催）

5月6日（日）9時〜12時

鳶沼遊歩道パトロールも兼ねる

鳶温泉駐車場：8時50分集合

申込みは前日まで

田代平湿原観察会（ロープ張り） 5月27日（日）

9時30分八甲田温泉前駐車場集合

・環境省主催の観察会：・

生自然観察会 7月21日（土）予定

詳細は次回会報でお知らせします

・【事務局から】・

平成24年度PV定時総会について

同封のハガキにて出欠の返信連絡願います。

PVユニフォーム（ウェア）購入助成について

今年度から新しい仲間が増えることから、会員の団結力を図る目的でPVのユニフォームを

揃えたいと思います。希望者については現会員に5,000円、新会員には3,000円を会から

補助します。購入希望者、負担金額、サイズ

合わせ等については定時総会時に行います。

